

## II. 実施の方法

第1学期は6月下旬、第2学期は12月上旬の2週間の期間中に、無記名のアンケートにより実施された。実施にあたって教務部教務課により実施本部が設営され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することとした。

アンケート実施対象科目は

第1学期 — 第1学期終了科目および通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期 — 第2学期終了科目および全ての通年科目

であり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。ただし、総履修者数が5名以下の科目については一律に実施対象としない、回答者数が5名以下の授業について、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない、また、当該授業のデータを保存はするが、原則として各種集計データに含めないこととした。集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
共通科目運営委員会	講義	
教職課程	講義	演習
学芸員資格取得に関する委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な10項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

次ページに実際に使用されたアンケート票のコピーを掲載する。



## 平成19(2007)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。 学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】



- ・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- ・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- ・筆りは消しゴムで完全に消してください。
- ・指定以外のところには書き込まないでください。
- ・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- ・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- ・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号  
□□-□□□-□□□ にある □ の3桁の数字です。  
(例) 07-011-9999の場合「011」  
07-095-9999の場合「095」
- ・本学の学籍番号が付与されていない学生(1-Campus生・大学院文芸学生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

時間割コード						授業形態	学科コード			学年	性別
						講義 ①				年	男 ①
						演習 ②					女 ②
						語学 ③					
①	②	③	④	⑤	⑥		①	②	③	①	
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		④	⑤	⑥	②	
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		⑦	⑧	⑨		
⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔		⑩	⑪	⑫		
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚		⑬	⑭	⑮		
㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱		⑯	⑰	⑱		
㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷		⑳	㉑	㉒		
㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽		㉓	㉔	㉕		
㊾	㊿						㉖	㉗	㉘		
							㉙	㉚	㉛		
							㉜	㉝	㉞		
							㉟	㊱	㊲		
							㊳	㊴	㊵		
							㊶	㊷	㊸		
							㊹	㊺	㊻		
							㊼	㊽	㊾		
							㊿				

- 回答の基準**
- ③: どちらとも言えない  
⑤: 強くそう思う ②: あまりそう思わない  
④: そう思う ①: 全くそう思わない

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

● 1～10は「全員」回答してください。

質問項目	回答欄
1 私はこの授業によく出席している ③: 出席率90%以上 ④: 出席率80～90% ⑤: 出席率70～80% ②: 出席率60～70% ①: 出席率49%以下	⑤ ④ ③ ② ①
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(専前の準備や復習等を含む)	⑤ ④ ③ ② ①
3 この授業のレベルについて ⑤: 高すぎる ④: やや高すぎる ③: 適切である ②: やや低すぎる ①: 低すぎる	⑤ ④ ③ ② ①
4 この授業を進める速さについて ⑤: 速すぎる ④: やや速すぎる ③: 適切である ②: やや遅すぎる ①: 遅すぎる	⑤ ④ ③ ② ①
5 授業に対する教員の熱意が感じられる	⑤ ④ ③ ② ①
6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	⑤ ④ ③ ② ①
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤ ④ ③ ② ①
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤ ④ ③ ② ①
10 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤ ④ ③ ② ①

● 11～12は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	⑤ ④ ③ ② ①

● 13～14は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	⑤ ④ ③ ② ①
14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	⑤ ④ ③ ② ①

● 15～16は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。

15 1回1回の授業のねらいが明確である	⑤ ④ ③ ② ①
16 教員は授業時間を有効に活用している	⑤ ④ ③ ② ①

● 17～18は「開設部門」が「共通科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。

17 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	⑤ ④ ③ ② ①
18 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	⑤ ④ ③ ② ①

● 19～20は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。

19 私は授業に遅刻したことがない	⑤ ④ ③ ② ①
20 高校で履修した教科科目 ③: 教I・教II・教IIIを履修した ②: 教I・教IIのみ履修した ①: いずれにも該当しない(例:留学生)	⑤ ④ ③ ② ①

● 21～28は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。

21 運動量は ⑤: 十分であった ④: おおむね十分であった ③: どちらとも言えない ②: やや不足していた ①: 不十分であった	⑤ ④ ③ ② ①
22 体力・健康状態が改善された	⑤ ④ ③ ② ①
23 運動技術が向上した	⑤ ④ ③ ② ①
24 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	⑤ ④ ③ ② ①
25 身体や運動に対する関心が高まった	⑤ ④ ③ ② ①
26 自分の身体の健康、体力の再確認ができた	⑤ ④ ③ ② ①
27 自分の生活習慣を見直す機会となった	⑤ ④ ③ ② ①
28 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	⑤ ④ ③ ② ①